

水道ビジョン実施スケジュール

(平成16年6月) 水道ビジョン策定

(3) 災害対策等の充実

- ・地震対策の充実、確実な対応
- ・地域特性を踏まえた渇水対策の推進
- ・相互連携、広域化による面的な安全性の確保
- ・災害発生時の事後対策の充実

進捗状況

- ・基幹水道構造物の耐震化事業に対して国庫補助制度を整備
- ・石綿セメント管更新事業の補助要件を緩和
- ・「水道施設の耐震化計画策定指針」と「水道施設の技術的基準を定める省令」の改正
- ・水道水源開発に対して国庫補助
- ・緊急時用連絡管の整備事業について検討
- ・「水道の危機管理対策指針策定調査報告書」を公表

水道ビジョン改訂（平成20年7月）

- 耐震化計画の策定、実施に向けた取組を推進
- 早期に石綿セメント管の布設替えが図られるよう取組の推進
- 耐震化の達成状況が著しく遅れている水道事業者等でも速やかに耐震化の実施
- 耐震化推進に向け需要者の理解を得るための耐震化状況の需要者への情報提供推進
- 水道水源開発等の計画的推進と渇水対策の充実
- 水道事業者等間の相互連携や緊急時用連絡管の整備なども含め、応急給水、応急復旧体制の総合的なバックアップ体制の整備推進
- 危機管理マニュアル等の整備など、危機管理体制の整備推進

今後の重点取組項目

フォローアップ検討会  
(平成19年度年)

次回レビュー・見直し  
(改訂後3年目)

政策目標／施策目標の達成

水道ビジョン実施スケジュール

(平成16年6月策定) 水道ビジョン

(4) 環境・エネルギー対策の強化

- ・水道運営への経済性と環境保全のWin-Winアプローチの導入
- ・水利用を通じた環境保全への積極的な貢献
- ・健全な水循環系の構築に向けた連携強化・水道施設の再構築

進捗状況

- ・「水道事業における環境対策の手引書」を公開し、資源の循環的利用や石油代替エネルギー利用の充実等を促進
- ・省エネ法に基づき、一定規模以上の電力使用浄水場等に対し定期報告及び中長期計画の作成・提出などを義務づけ
- ・有効率等向上のため、国庫補助等も活用し、老朽管等の水道施設の計画的な更新等を推進中
- ・水道事業における省エネルギー・再生可能エネルギー対策について実態調査を実施
- ・「京都議定書目標達成計画」の改定版に追加対策として「水道事業における省エネルギー・再生可能エネルギー対策の推進」を位置付け

水道ビジョン改訂（平成20年7月）

今後の重点取組項目

- 手引書等を活用し、経済性との両立(持続可能な水道運営)に留意して、環境対策(資源の循環的利用、省エネルギー・再生可能エネルギー対策(地球温暖化対策)、水資源の有効利用等)に係る各種取組をより積極的かつ計画的に実施
- 水道事業者等の各種取組事例及び実績等に関する情報収集・分析により、事業規模・特性等に応じた対策導入に関する情報提供
- 環境対策が他の施策と密接に関連し得ることを踏まえ、水道施設の最適配置、省エネ機器の使用、老朽管等の水道施設の計画的な更新、水安全計画の活用等、環境対策にも資する各種取組の積極的推進
- 国民に対して、水道水源の保全や環境・エネルギー対策に関する取組の現状や課題について情報を積極的に提供

フォローアップ検討会  
(平成19年度年)

次回レビュー・見直し  
(改訂後3年目)

政策目標／施策目標の達成

